

## < 橋梁点検分科会 第6回リーダー会議 議事録 >

日時:平成17年11月30日(水) 15:00 ~ 17:15

場所:茨城県道路公社会議室

### 1. 出席者名:13名

茨城大学:横山 功一、原田 隆郎  
長大:牧野 均、渡辺 公夫  
川田建設:渡部 寛文  
ショーボンド建設:菊池 三千雄  
ピーエス三菱:深津 賢次

東京鉄骨橋梁:加賀 豊丈  
土木部道路維持課:古内宏  
道路公社:豊島 信拓、竹井 悟  
新星コンサルタント:成島肇寿  
建設技術管理センター:(事務局) 園部武正

### 2. 討議内容

#### (1) 橋梁点検データベースについて

・現在、橋梁点検のデータベースとして[Microsoft Excelマクロ]を用い、各土木事務所ごとに橋梁管理台帳を整備し、管理メニューとして14項目程度を管理することで案を作成している。-(資料1参照)

項目は、 橋梁台帳  
H3点検台帳  
新規点検台帳  
判定基準  
点検位置図  
補修工法一覧  
道路パトロールシート

点検台帳記入シート  
点検フロー  
補修・補強履歴  
点検履歴  
概算工事費算出  
橋梁点検シート  
写真帳(画像ファイル)

などで管理し、台帳の更新はその都度各土木事務所で行い、統括する道路維持課で全県データを掌握するシステムとする。

・試験的に当システムについて県関係課並びに関係土木事務所にデモを行ったところ、不慣れな面が明らかになったため、実際の運用には、内容説明、操作説明の開催が必要と思われる。

・本データベースの各土木事務所で行う更新作業以外の維持管理は、建設技術公社、道路公社、コンサルタントなどで面倒を見る。

・本データベースを基礎資料として今後「橋梁アセットマネジメント」に発展させる。

#### (2) 橋梁点検カルテ案について

・「誰にでもできる橋梁点検」と位置づけ、省力型で省費用を条件に点検内容も簡単な形式とし、詳細点検への橋渡しを行うための点検シートととしてA4版1枚ぐらいにまとめる作業を行っている。

・今回提案のものは、16項目について健全度(A・B・Cの3種)と清掃が必要か否か、安全上危険度があるか否かの判定を踏まえ点数化を行い、総合評価を行って「橋梁点検データベース」に反映させる。-(案1参照)

・別案のもう少し詳細な項目を上げる点検シート(案2参照)もあるため、次回研究発表会には、2~3案の点検シート案を作成して提示し、意見を聴取ののちリーダー会等で最終決定する。

・埼玉県の「橋梁観察シート」が参考に提出され、やはり観察者の個人差が出ることが報告された。-(埼玉県橋梁観察シート参照)

・今後パトロール員の視認観察誤差をできるだけ少なくするよう教育、研修の場が必要と成ることが考えられる。

・点検は、定期点検と合わせ、地震時並びに異常気象時も含めて考える。

### 3. 分科会代表の茨城大学横山先生からのアドバイス

・課員の活発な発言と意見交換を期待したい。

・水戸土木事務所は、ある程度データベースが整理されているため、今年度水戸土木をモデル事務所として新たな点検シートに基づいて点検を実施し、平成3年に実施された点検資料との比較を行い、新たな橋梁管理台帳のデータベースへの記入のデモを行い、その後、平成18年度以降他の土木事務所に展開を図る。

### 4. 今後のスケジュール

・12月19日(月)に橋梁点検分科会全員に参加を呼びかけて、第2回の研究会を(財)茨城県建設技術管理センターの研修センターで午後1:30から開催する。

・平成18年3月、いばらき建設技術研究会会員に参加を呼びかけ、発表会を開催し、茨城県全体、特に行政に向けたPRを図って行くこととする。